



「じんけん」ぼん (2016.10/No150)



私たちができる支援を考える会 ～子どもたちの未来のために～

発行日 2016/10/7

社会福祉法人生活クラブ
柏市地域生活支援センター あいネット
〒277-0004
柏市柏下65-1
ウェルネス柏
電話: 04(7165)8707
FAX: 04(7165)8709

目次	
私たちができる支援を考える会	1
アドバイザー養成研修	2
障害者権利擁護研修会	2
就労準備支援室より	3
お知らせ	4

～ひとこと～

ハロウィンが10月の定番行事になりましたね。今年は実家のカボチャをジャック・オー・ランタンに！途端、数匹の小バエが遊びに来たので急いで冷凍庫に避難させました。うまく乾燥させる方法？思案中です。



「子どもの貧困と言うけど、そもそもそれってどういう状態？」
「虐待のニュースをテレビで見るけど、身近でそんなことが起きているとは知らない」
「近所に気になる子がいるけど、どう関わればいいのかわからない」
「最近ニュースで取り上げられている、子ども食堂って何？」
「自分にも何かできるかと思うけど、何をすればいいの？」
まず、子どもたちの現実を知る。
そして自分に何ができるのかを、一緒に考えてみませんか？

このような投げかけで始まったこの会。温かい雰囲気の中、子ども・若者支援に思いのある方たちが集まりました。シンポジウムには、こがねはら子ども食堂代表の高橋氏、柏市学習支援事業学習講師の佐藤氏、弁護士の山下氏、柏市保健所地域健康づくり課の高木氏が登壇。それぞれの立場の実践からお話では、子どもが立ち寄れる『居場所』に大きな役割があり、子どもがリラックスできる環境で寄り添い歩幅を合わせていくことが重要とのことでした。子どもの居場所をどう作っていくか？どんな場が子どもにとって居心地のいい場所なのか？高橋氏は「相談できる・寄り添ってくれる・話を聞いてくれる・認めてくれる場所があれば地域から孤立をなくすことができるのではないか」と子ども食堂の可能性について話されました。支援について、地域にこだわり・より必要としている人に届ける（せまく・深く）今ここでできること・自分たちの実力に見合ったことをする（自分たちの限界と可能性を常に意識）など、子どもの身近な支援者となるキーワードが盛り込まれていました。

中核地域生活支援センターがじゅまるの朝比奈氏の講演では、地域の総合相談支援現場から見てきたこととして「現代の価値観や生活スタイルは多様化し、自立するための『自律する（選ぶ、決める）力』は落ちているため、子どもの支援においては特に、健康な背中を見せる年長者と出会う場が必要」「支援者にはさまざまな人たちと『協働する力』が必要」などの話があり、あいネットの支援で共通することも多くありました。社会構造の変化の中でこぼれ落ちる課題は必ず存在するという意識を持つこと、多様性を理解しつつ問題の背景や構造を理解する力、地域組織を基盤としたニーズキャッチの仕組みと声を上げにくいニーズをキャッチする仕組みづくり（と、かみあわせ）などに意識していきたいと感じました。

子ども食堂は柏市でもいくつか開催しており、これから開催したいという声もあがりました。私たちの地域における子ども・若者支援について、今後もじんけんぼんでお知らせしていけたらと思います。



家族関係支援 アドバイザー養成研修

9/12（月）千葉県虐待防止対策室主催のアドバイザー養成研修（家族関係支援）に参加してきました。千葉県では児童虐待で介入する場合、早期の段階で家族支援もあわせておこなわれています。児童を虐待した加害者として当事者と対立するという従来構造では、その後ほとんどの被虐待児が地域に戻ることを考えると、むしろ家族との関係性を構築していくことに主眼を置いたほうがその後につながるの理由からです。また時間軸は関わってから早いほうが関係性構築に向かいやすいため、一時保護の告知時等から支援を開始する試みをおこなっています。

家族支援の考え方として「サインズオブセーフティアプローチ」があります。当事者が今後危害を繰り返さないためにプランを一方的に押し付けるのではなく、当事者と共にプランニングをおこなう方法で、メリットとしてはプランが見えること、また当事者が作ったプランということで実効性が高いことが挙げられます。

またみえる化のツールとしてスリーカラム法（ボードを3つにわけ、「心配なこと」「うまくいっていること」「今後起きる必要があること」を書き出していく）、当事者の強みを引き出す手段としてAI（Appreciative Inquiry；理解の問いかけ）という質問法を演習でおこないました。当事者は24時間365日困っているわけではありません。当事者もいつもならトラブルになる状況がトラブルにならなかった「例外」話もあるはず、子どもと楽しく過ごせた時間、状況もあったはず。また既に達成されている「解決」、そういった当事者の強みに焦点を当てる質問法です。実際にやってみると、とても難しい質問なのですが、質問をして返すを繰り返すうち、質問する側もされる側も非常に前向きになっていくのが分かりました。「相手の強みを引き出す質問法」、研修終了後、児童相談所の職員の方とも「難しい」と話していた方法ですが、まずは相手の強みを探す意識をすることで始めようと思いました。



障害者権利擁護研修会 津久井やまゆり園の事件を考える会

平成28年7月26日に、神奈川県障害者支援施設「津久井やまゆり園」において、元職員による利用者の殺傷事件が起こりました。柏市ではこの事件を重大な障害者の権利侵害と受け止め、9月10日にウェルネス柏にて柏市自立支援協議会との共催で「障害者権利擁護研修会～津久井やまゆり園の事件を考える」が開催されました。障害を持つご本人やその家族、障害福祉サービス事業所の職員や相談支援専門員等、当日は50名を超える参加者がありました。

柏市からは、「今回の事件で門を閉ざして外部の人が入れないという指導はしない。こんな事件があったからこそ門を開いて共存できる社会を作りたい」という心強い表明もありました。後半のグループワークでは、各々が抱えていた今回の時間に対する意見交換の時間が持たれました。参加者の中には「この研修で初めて事件の事を話せた。誰にも話せなかった。」とおっしゃる方もいました。

今回の研修はひとつの答えを導き出す場ではなく、それぞれが抱える気持ちを吐き出して共有する事に一番の意味があったのではないかと感じました。

よろしくお祈りします



はじめまして、磯谷と申します。10月から、あいネット一員に加えて頂きました。私自身、悩みは尽きないなぁと思う今日この頃ですが、よりそう事を心にとめ頑張ります。よろしくお祈り致します。



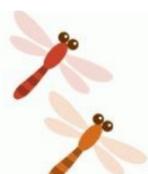
あいネット就労準備支援室より



就労準備支援室からは、就労についての情報をお届け致します。講座にもぜひご参加ください。



免許・資格の書き方は？ No.13-3



免許証に「中型（8t限定）」とある人は？

2007年6月以前に普通自動車免許を取得した人は、更新のタイミングで表記がいつの間にか「中型」に変わっていることと思います。これは、2007年6月1日に道路交通法が改正され、普通自動車の分類が変わったため。新たな普通自動車免許では、5トン車までしか運転できませんが、それまでに普通自動車免許を取った人は、引き続き8トン車まで運転が可能。

- 平成〇〇年〇月 中型自動車免許（8t限定） 取得
 - 平成〇〇年〇月 中型自動車第一種運転免許（8t限定） 取得
 - 平成〇〇年〇月 普通（現 8トン限定中型）自動車第一種運転免許 取得
- 以上のどれかの書き方でよいでしょう。



精神科デイケアの目的と効果 no12

精神科デイケアの上手な使い方

精神科・心療内科にはデイケアが併設されているところがあります。また医療機関以外でも保健所などが精神科デイケアを行っていることもあります。精神科デイケアは、患者さんに日中に来ていただき、様々な活動を行いながら疾患の治療を促していく場です。精神科デイケアは上手に利用すれば、病気の治りをよりスムーズにしてくれます。

では具体的にデイケアに参加することにはどんな目的があって、どのような効果が得られるのでしょうか。次回から、お知らせしていきたいと思えます。精神科デイケアの目的と得られる効果についてみてみましょう



今月の講座案内

講座受講希望の方は日程調整いたします。ご連絡ください。



コミュニケーション講座

面接の模擬をしたり、気持ちが楽になるコミュニケーションの方法をお伝えします。ワークを通してスキルを高めましょう！



キャリア講座

自分を振り返りながら、仕事についても考えてみましょう！



パソコン講座

Word・Excelを通してパソコンの基本的な操作を覚えられるようお手伝いします。マンツーマンが基本ですので、ご自分のペースで練習する事ができます。



職場体験

ディサービス「あじさい」で高齢者が自立した生活ができるようお手伝いをします。車で送迎します。昼食代500円頂きます。



この講座は、生活困窮者自立促進支援法に基づく支援を利用されている方に向けてのプログラムです。利用希望の方は電話でご相談ください。

お知らせ

こちらのコーナーへ掲載希望の方はあいネットまで
(TEL: 04-7165-8707 FAX: 04-7165-8709)

第37回 “全国親の会” 自由なおでかけ 自然なおでかけ 柏大会

不登校・ひきこもりなど... ～一人で悩まないで出かけていっちゃいませんか～

日時 : 平成28年10月30日(日) 10:30~16:15
 場所 : さわかちば県民プラザ (柏市柏の葉4-3-1)
 参加費 : 無料(申込制 定員400名) ※第一部のみ保育あり(申込制)
 内容 : 第一部 10:30~13:00 体験談と質疑応答
 講師 金盛 浦子氏(東京心理教育研究所所長 臨床心理士・芸術療法士・認定カウンセラー)
 第二部 14:00~16:15 自律訓練法とグループディスカッション

主催 NPO法人 SEPY倶楽部
 共催 子どもの問題を考える会千葉
 後援 千葉県・県教育委員会 柏市・市教育委員会 我孫子市・市教育委員会

お申込み NPO法人 SEPY倶楽部 (担当:千葉)
 住所 : 東京都豊島区南大塚1-49-7
 電話 : 03-3942-5006 (火曜~土曜の10:30~15:00)



高齢者・障がい者のための歯医者さん

特殊歯科講演会 ウェルネス柏「かむかむ歯科診療所」講演&見学会

日時 : 平成28年11月6日(日) 13:30~15:00 (受付 13:00開始)
 場所 : ウェルネス柏 4階研修室 (柏市柏下65-1)
 参加費 : 無料(申込制 50名)
 講演 : 「特殊歯科をもっと活用しよう！」
 講師 宮下 直也先生(公益財団法人柏市医療公社特殊歯科)

主催 障がい理解推進チームWa's ・ 柏市

お申込み:お電話・ホームページ等でお申込みください
 電話 : 090-3428-5328(担当:大隣)
 ホームページ: <http://was-kashiwa.jimbo.com/>



第14回フードドライブ 開催中！！

主催 フードバンクちば

平成28年9月12日~10月31日
(平日9:00~17:00)

あいネット・あいネット就労準備支援室にて
詳細は直接お問い合わせください (04-7165-8707)

ご家庭に眠っている食品大募集！

